

「自分から取り組む、自分で取り組む」家庭学習

令和2年度 鶴居村立幌呂小学校
高学年用
2020年4月版

学校全体で、このような
指導に取り組めます。



高学年では、この
ように指導します。

1. 共通理解を図り、指導します。

- ◆学年に応じた「家庭学習の手引き」を作成し、全教員が共通理解を図って指導していきます。
- ◆宿題の内容や量について、教員間で話し合い、調整していきます。

2. 授業と家庭学習をつなげます。

- ◆学習内容に応じて、宿題（復習、高学年は予習）を効果的に活用した授業に努めていきます。
- ◆授業で学習したことを活用できる場面や方法を紹介していきます。

3. 内容・方法を指導します。

- ◆学習内容や方法、時間、ノートの方を定期的に指導し、学習の仕方を定着させていきます。
- ◆高学年を中心に、「調べ、考え、書く」を中心とした活用型の宿題にも取り組ませていきます。

4. 協力・連携体制を築きます。

- ◆お子さんや保護者の家庭学習に関する悩みや要望を把握し、相談する機会を設けていきます。
- ◆村内の小学校同士や小中学校間で、家庭学習の内容や方法などについて交流し、本校での指導に役立てていきます。

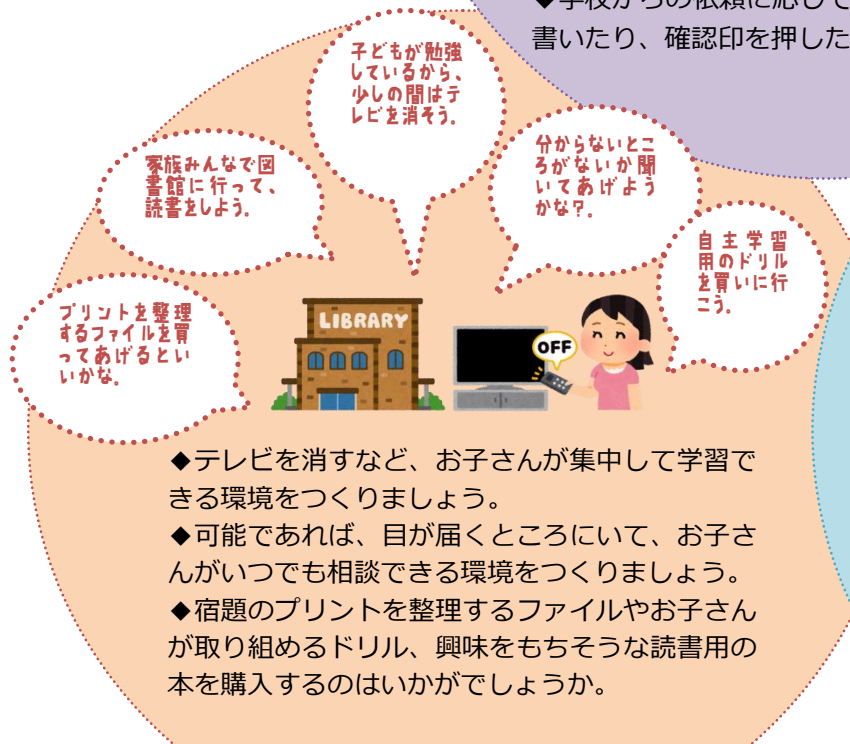
幌呂小学校の
家庭学習
1.宿題
(全員が取り組む)
(担任の先生が内容を決める)
2.自主学習
(自主学習ノート)
(読書・習字など)

心のサポート



幌呂小学校
5年生の目標時間
50分
6年生の目標時間
60分

環境のサポート



習慣づくりのサポート



1. 平日の家庭学習

- ①毎日、国語プリント1枚、算数プリント1枚に取り組めます。
- ②家庭学習時間が、①をやって目標時間に達しない場合残りの時間は、自主学習＝家庭学習ノートに取り組めます。
- ③家庭学習のノートのルール（ノートの使い方、書き方、提出の仕方）を学校で練習してから取り組めます。
- ④ワーク（ドリル）や学校から出されている漢字学習のワーク（ドリル）に取り組んで、それを自主学習にしてもいいです。

2. 週末の家庭学習

- ①週末の家庭学習は、日曜日はお休みにします。金曜・土曜の二日分宿題を出します。
 - ・日曜日自主学習に取り組むたかったらやってきてもいいです。

3. 提出について

- ①基本的に、自主学習ノートを2冊用意していただき、一日交替で出してください。
 - ・提出されたノートは、担任が確認後、次の日に返します。2冊のノートのご準備をお願いします。
- ②宿題でわからないところは学校で指導しますので、無理に取り組ませず、持たせてください。
- ③提出が連続して滞った場合や内容の偏りがある場合は随時指導していきます。

「自分から取り組む、自分で取り組む」家庭学習

令和2年度 鶴居村立幌呂小学校
中学年用
2020年4月版

学校全体で、このような指導に取り組めます。



中学年では、このように指導します。

1. 共通理解を図り、指導します。

- ◆学年に応じた「家庭学習の手引き」を作成し、全教員が共通理解を図って指導していきます。
- ◆宿題の内容や量について、教員間で話し合い、調整していきます。

2. 授業と家庭学習をつなげます。

- ◆学習内容に応じて、宿題（復習、高学年は予習）を効果的に活用した授業に努めていきます。
- ◆授業で学習したことを活用できる場面や方法を紹介していきます。

3. 内容・方法を指導します。

- ◆学習内容や方法、時間、ノートを使い方を定期的に指導し、学習の仕方を定着させていきます。
- ◆高学年を中心に、「調べ、考え、書く」を中心とした活用型の宿題にも取り組ませていきます。

4. 協力・連携体制を築きます。

- ◆お子さんや保護者の家庭学習に関する悩みや要望を把握し、相談する機会を設けていきます。
- ◆村内の小学校同士や小中学校間で、家庭学習の内容や方法などについて交流し、本校での指導に役立てていきます。

幌呂小学校の家庭学習

1. 宿題
〈全員が取り組む〉
〈担任の先生が内容を決める〉

2. 自主学習
〈自主学習ノート〉
〈読書・習字など〉

心のサポート

難しいところはあった？先生に聞いてみるといね！

こつこつと頑張れるって、すごいことだね！

この前のテストで、...の部分が出来ていたね！

集中して宿題に取り組んでいて、立派だったね！

このノート、とってもきれいに書けているね！

◆お子さんのプリントやノートを見て、頑張った過程・部分を認めましょう。

◆お子さんが自分の良さを自覚したり、将来の夢や目標を意識したりできるように声をかけを。

◆学校からの依頼に応じて、保護者のコメントを書いたり、確認印を押したりしましょう。

幌呂小学校
3年生の目標時間
30分

4年生の目標時間
40分

環境のサポート

子どもが勉強しているから、少しの間はテレビを消そう。

家族みんなで図書館に行って、読書しよう。

分からないところがないか聞いてあげようかな？

自主学習用のドリルを買いに行こう。

プリントを整理するファイルを買ってあげるとういかな

◆テレビを消すなど、お子さんが集中して学習できる環境をつくりましょう。

◆可能であれば、目が届くところにおいて、お子さんがいつでも相談できる環境をつくりましょう。

◆宿題のプリントを整理するファイルやお子さんに取り組めるドリル、興味をもちそうな読書用の本を購入するのはいかがでしょうか。

習慣づくりのサポート

ゲーム・スマホは、()時までにはしようね。

目標を貼っておくと、やる気が出るよ。

子どもとルールを決めることが大切だね。

できるだけ同じ時間にご飯を食べられるように準備しよう。

家に帰ったら、まず何をやるのか決めておこう。

◆お子さんに、やらなければならないことややってほしいことなどを気づかせる声をかけをしましょう。

◆「起床時刻」「就寝時刻」「学習を始める時間」「ご飯を食べる時間」などを決めて、守るように声をかけをしましょう。

◆「ゲームやスマホの時間は○時まで、○分間」というように明確なルールを決めましょう。

1. 平日の家庭学習

- ①算数のプリント（両面）を1枚配布します。
 - ・その日の学習内容に合わせた内容が基本ですが、復習や四則計算になることもあります。
- ②新出漢字を中心に、漢字練習をドリルノートに取り組めます。
 - ・定着度の確認、意欲づけのために毎週ミニテストを行います。
- ③家庭学習時間が、①・②を合わせて目標時間に達しない場合は、自分で課題を考えて自主学習に取り組めます。
 - ・復習を中心に。計算ドリルなどを活用して下さい。

2. 週末の家庭学習

- ①大きめのサイズのプリントを数枚配布します。
 - ・国語、算数以外にも社会、理科の復習をします
- ②新出漢字を中心に、漢字練習を毎日1ページ取り組みます。
- ③自主学習は、平日と同様です。

3. 家庭学習〈宿題・自主学習〉は、毎朝提出します。

◆忘れた場合や取り組み不足の場合は、その日のうちに取り組みます。必要に応じて、休み時間や放課後に取り組みむこともあります。

環境のサポート

習慣づくりのサポート

「自分から取り組む、自分で取り組む」家庭学習

令和2年度 鶴居村立幌呂小学校
低学年用
2020年4月版

学校全体で、このような指導に取り組めます。



低学年では、このように指導します。

1. 共通理解を図り、指導します。

- ◆学年に応じた「家庭学習の手引き」を作成し、全教員が共通理解を図って指導していきます。
- ◆宿題の内容や量について、教員間で話し合い、調整していきます。

2. 授業と家庭学習をつなげます。

- ◆学習内容に応じて、宿題（復習、高学年は予習）を効果的に活用した授業に努めていきます。
- ◆授業で学習したことを活用できる場面や方法を紹介していきます。

3. 内容・方法を指導します。

- ◆学習内容や方法、時間、ノートを使い方を定期的に指導し、学習の仕方を定着させていきます。
- ◆高学年を中心に、「調べ、考え、書く」を中心とした活用型の宿題にも取り組ませていきます。

4. 協力・連携体制を築きます。

- ◆お子さんや保護者の家庭学習に関する悩みや要望を把握し、相談する機会を設けていきます。
- ◆村内の小学校同士や小中学校間で、家庭学習の内容や方法などについて交流し、本校での指導に役立てていきます。

幌呂小学校の家庭学習

1. 宿題
〈全員が取り組む〉
〈担任の先生が内容を決める〉

2. 自主学習
〈自主学習ノート〉
〈読書・音読など〉

心のサポート

難しいところはあった？先生に聞いてみるといね！

こつこつと頑張ってるって、すごいことだね！

この前のテストで、...の部分が出来ていたね！

このノート、とってもきれいに書けているね！

集中して宿題に取り組んでみて、立派だったね！

◆お子さんのプリントやノートを見て、頑張った過程・部分を認めましょう。

◆お子さんが自分の良さを自覚したり、将来の夢や目標を意識したりできるように声をかけを。

◆学校からの依頼に応じて、保護者のコメントを書いたり、確認印を押したりしましょう。

幌呂小学校
1年生の目標時間
10分

2年生の目標時間
20分

子どもが勉強しているから、少しの間はテレビを消そう。

家族みんなで図書館に行って、読書しよう。

分からないところがないか聞いてあげようかな？

自主学習用のドリルを買いに行こう。

プリントを整理するファイルを買ってあげるといいかな

- ◆テレビを消すなど、お子さんが集中して学習できる環境をつくりましょう。
- ◆可能であれば、目が届くところにおいて、お子さんがいつでも相談できる環境をつくりましょう。
- ◆宿題のプリントを整理するファイルやお子さんに取り組めるドリル、興味をもちそうな読書用の本を購入するのはいかがでしょうか。

環境のサポート

ゲーム・スマホは、()時までにはしようね。

目標を貼っておくと、やる気が出るよ。

子どもとルールを決めることが大切だね。

できるだけ同じ時間にご飯を食べられるように準備しよう。



家に帰ったら、まず何をやるのか決めておこう。

- ◆お子さんに、やらなければならないことややってほしいことなどを気づかせる声をかけをしましょう。
- ◆「起床時刻」「就寝時刻」「学習を始める時間」「ご飯を食べる時間」などを決めて、守るように声をかけをしましょう。
- ◆「ゲームやスマホの時間は○時まで、○分間」というように明確なルールを決めましょう。

習慣づくりのサポート

1. 平日の家庭学習

- ①毎日、算数のプリントを1枚配布します。
(学習した内容の復習が基本ですが、まとめや計算練習になることもあります。)
- ②毎日、国語のプリントを1枚配布します。
(学習した漢字が基本です。定着度の確認、意欲づけのために、宿題と同じ内容のテストを行います。日によっては、「言葉」に関する宿題になることもあります。)
- ③家庭学習時間が、①・②を合わせて目標時間に達しない場合は、お家の方と相談し、課題を決めて自主学習に取り組めます。
→復習を中心に。国語・算数のドリルを行ったり、漢字をノートに練習したりするなど、取り組みやすいものから始めてはいかがでしょうか。

2. 週末の家庭学習

平日の家庭学習に加えて、

◆音読または読書

音読の内容は、国語の教科書(説明文や物語文)を中心に、3~5分程度、お家の方に聞いて頂きます。読書の場合は、読んだ内容をお家の方に簡単に伝えることとします。

いずれの場合でも、カードにサインをお願いします。

3. 家庭学習(宿題・自主学習)は、毎朝提出します。

◆その日のうちに、取り組んだ内容を確認します。定着が不十分なところは、正しい答えを示し、チャレンジタイムなどを利用して理解ができるようにしていきます。

「自分から取り組む、自分で取り組む」家庭学習

令和2年度 鶴居村立幌呂小学校
チャレンジルーム用
2020年4月版

学校全体で、このような指導に取り組めます。



特別支援学級では、このように指導します。

1. 共通理解を図り、指導します。

- ◆学年に応じた「家庭学習の手引き」を作成し、全教員が共通理解を図って指導していきます。
- ◆宿題の内容や量について、教員間で話し合い、調整していきます。

2. 授業と家庭学習をつなげます。

- ◆学習内容に応じて、宿題（復習、高学年は予習）を効果的に活用した授業に努めていきます。
- ◆授業で学習したことを活用できる場面や方法を紹介していきます。

3. 内容・方法を指導します。

- ◆学習内容や方法、時間、ノートを使い方を定期的に指導し、学習の仕方を定着させていきます。
- ◆高学年を中心に、「調べ、考え、書く」を中心とした活用型の宿題にも取り組ませていきます。

4. 協力・連携体制を築きます。

- ◆お子さんや保護者の家庭学習に関する悩みや要望を把握し、相談する機会を設けていきます。
- ◆村内の小学校同士や小中学校間で、家庭学習の内容や方法などについて交流し、本校での指導に役立てていきます。

幌呂小学校の家庭学習

1. 宿題
〈全員が取り組む〉
〈担任の先生が内容を決める〉

2. 自主学習
〈自主学習ノート〉
〈読書・筆算など〉

心のサポート

◆おさんのプリントやノートを見て、頑張った過程・部分を認めましょう。

◆おさんが自分の良さを自覚したり、将来の夢や目標を意識したりできるように声かけを。

◆学校からの依頼に応じて、保護者からのコメントを書いたり、確認印を押したりしましょう。

難しいところはあった？先生に聞いてみるとういね！

こつこつと頑張れるって、すごいことだね！

この前のテストで、...の部分が出来ていたね！

集中して宿題に取り組んでみて、立派だったね！

このノート、とってもきれいに書けているね！

幌呂小学校
4年生の目標時間
40分

5年生の目標時間
60分

子どもが勉強しているから、少しの間はテレビを消そう。

家族みんなで図書館に行って、読書しよう。

分からないところがないか聞いてあげようかな？

自主学習用のドリルを買いに行こう。



- ◆テレビを消すなど、お子さんが集中して学習できる環境をつくりましょう。
- ◆可能であれば、目が届くところにいて、お子さんがいつでも相談できる環境をつくりましょう。
- ◆宿題のプリントを整理するファイルやお子さんに取り組めるドリル、興味をもちそうな読書用の本を購入するのはいかがでしょうか。

環境のサポート

ゲーム・スマホは、()時までにはしようね。

目標を貼っておくと、やる気が出るよ。

子どもとルールを決めることが大切だね。

できるだけ同じ時間にご飯を食べられるように準備しよう。

家に帰ったら、まず何をやるのか決めておこう。



- ◆お子さんに、やらなければならないことややってほしいことなどを気づかせる声かけをしましょう。
- ◆「起床時刻」「就寝時刻」「学習を始める時間」「ご飯を食べる時間」などを決めて、守るように声かけをしましょう。
- ◆「ゲームやスマホの時間は〇時まで、〇分間」というように明確なルールを決めましょう。

習慣づくりのサポート

1. 毎日、プリントをします。

- ◆全員が取り組む「宿題」として、国語1枚、算数1枚のプリントを配布します。（その日のプリントの内容に合わせて、枚数を減らしたり、増やしたりすることがあります。）
- ◆提出したその日のうちに〇つけを行います。まちがったところは、赤ペンで直して、正しい答えが理解できるようにして家に持ち帰ります。

2. 毎日、「自主学習ノート」に取り組めます。

- ◆漢字や計算の学習など、自分で学習することを考えて取り組みます。
- ◆個別の学習時に、教師がお子さんと「今日、どのような学習に取り組むのか」を確認し、一人で考えることが難しそうな場合は、アドバイスを行います。

3. 週末は、金・土・日のうち、2日分の学習をします。

- ◆月曜日から木曜日までの平日は、毎日家庭学習を行います。金・土・日は、3日間のうち2日分の学習に取り組めます（1日はお休みです）。

4. 家庭学習（宿題・自主学習）は、毎朝の個別の学習の時間に提出します。

- ◆朝のうちに確認を行い、必要に応じて、授業や休み時間に補完的に取り組みます。